

令和6年度 第1回 都留市総合教育会議 議事録（概要）

日 時：令和6年10月29日（火）午後1時30分～午後2時30分

場 所：都留市役所2階 市長公室

出席者：小林教育長、三枝委員、小俣委員、小笠原委員、村上委員、弓指委員
市長、総務部長、教育次長、企画課長、学校教育課長、学校教育課長補佐、
生涯学習課長補佐、企画課長補佐、教育企画推進室長、
教育企画推進室リーダー、教育指導主事、企画担当リーダー、企画担当

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

（1）令和7年度教育関連予算について

（説明者：教育長、企画課長）

詳細は「資料（1）令和7年度市政運営の基本的な考え方」、「資料（2）令和7年度教育予算編成方針」のとおり

⇒ 提案のとおり決定

【主な発言】

（弓指委員）

小学校英語事前準備プログラムの推進について、今年度から幼保小の連携と英語教育を充実するために、宝保育所に外国人指導員を配置していただいたことに感謝申し上げます。子どもたちに英語を話す力、聞く力が身につくほか、保護者にとっても都留市が子育ての喜びが実感できるより魅力的なまちになると思う。その他の保育園や幼稚園に対する事業の拡充について予算措置をお願いしたい。

⇒当該事業については今年度から宝保育所にて試験的に実施している。事業を進めていく中で出てくる課題や問題などを精査し、来年度以降の事業拡充に向けた調査及び検討を行ってまいりたい。（学校教育課長）

（小笠原委員）

GIGA スクール構想について、1人1台端末を整備していただき、感謝申し上げます。来年度、既存の端末購入から5年が経過するため、端末の更新に向けた予算措置をお願いしたい。また、先日開催された都留第二中学校での公開授業において、ネットワークが切断し、授業の進行に影響が出ることがあった。そうした事態がなるべく起きないように、学校のネットワーク環境の強化に対する一層の支援をお願いしたい。

(村上委員)

指導主事の配置について改めて感謝申し上げる。児童生徒に対する理解や教育現場にも非常に精通している方で、大変助かっている。今以上の児童生徒に対するきめ細やかな指導や教職員の負担軽減のために、指導主事の増員をぜひともお願いしたい。

- ⇒・教育現場からの長年の要望であり、今年度、指導主事の配置が実現した。山梨県教育委員会には令和7年度にさらに1名の配置をお願いしているところである。(教育長)
- ・山梨県教育委員会には引き続き要望を行っていく。(市長)

(小俣委員)

生涯学習活動について、のびのび興譲館やシリウスカレッジなどの事業を展開し、子どもから高齢の方まで学習する機会を提供いただき、感謝申し上げます。シリウスカレッジは専門的なプログラムもあり学びたい人にとって魅力的なものである。また、鶴寿大学については私の周囲にも受講者が多く、非常に楽しみながら参加している。学ぶことや多くの方と交流することを楽しみにしている人も多いので、今後もこうした事業の実施をお願いしたい。

(三枝委員)

家庭・地域・学校の連携に関連して、子どもたちの学力向上には様々な側面がある中で家庭学習の充実が課題となっている。本市においては令和5年度に「都留市の教育を考える会」を立ち上げ、教育首都つるの実現に向けて、様々な立場の方が議論を重ねている。その会の中でも家庭教育チームや地域教育チームにおいて、様々な施策を検討しており、具体的な取組内容を立案した際には市からの支援・協力をお願いしたい。

- ⇒・他市の事例だが、家庭の経済状況によって子どもの学力に差が生じないように通塾に対する補助を実施する自治体もある。(市長)
- ・家庭での学習が進まない要因として、スマートフォンやタブレットによる動画視聴やゲームが一因ではないかという調査結果があり、そうした課題を解決するための取組についての議論も行っている。(教育長)

(村上委員)

少子化や人口減少により20年後には本市の子どもも1,000人を切るといわれている。少人数教育の良さもあるが、社会の中での生活や対人コミュニケーションも重要であり、そうすると小中一貫校・義務教育学校の設置といった議論も長期的には必要であると考えているため、そうした視点をもって市と教育委員会が一体となって検討いただきたい。

- ⇒・将来的な子どもの数はある程度推計できるため、具体的な時期は未定だが長期的展望として、例えば市内を3地区に分けて小学校の統廃合、小中一貫校の設置というような議論を計画的に進めていかなければならない。令和9年度から次期長期総合計画も始まるため、そうした考え方も盛り込む必要がある。(市長)

- ・谷村第一小学校と都留文科大学附属小学校の統廃合の説明会において、小中一貫校として市内全体で3校程度の規模となるような長期的な小中学校の在り方についてお示しをしたところ、反対意見はその場ではなかった。慎重な議論が必要であり、新校舎の建設ということであれば費用や時間がかかる話であるので、計画的な検討を行ってまいりたい。(教育長)

(三枝委員)

近年、特に支援を必要とする児童・生徒が増えている。既存教員のみでは学校運営は困難であり、市担教員や補助員、外国語指導助手などの人的配置をしていただき、感謝申し上げます。教育現場からも大変助かっているとの声を聴くので、引き続き同様の支援をお願いしたい。

- ⇒・小中学校との予算ヒアリングの中で出てきた要望については可能な限り対応してまいりたい。(学校教育課長)

(小笠原委員)

都留市義務教育振興に関する要望書の中で体育館へのエアコン設置があった。昨今の異常気象により夏場には屋外で体育の授業もなかなかできなくなるのではないかという懸念もある。長期的な視点で考えると避難所として多くの市民が利用する際には空調設備の設置といったことも計画的に行う必要があると思うが、それには莫大な予算がかかり早期の対応は難しいということは理解している。教育の観点から応急措置として冷風機の設置などを検討していただきたい。

- ⇒・水を使った空調システムの導入など様々な方策が考えられると思うが予算の兼ね合いもあるため、効果的な手段を検討してまいりたい。(市長)
- ・山梨県副知事と話をする機会があり、避難所としての体育施設の空調設備については、設置状況や費用の問題など全県的な課題であると県も認識している。教育・防災の観点から相互に連携し、知恵を出し合いながら前向きに検討してまいりたい。(総務部長)

(2) 都留市教育大綱(案)について

(説明者：企画担当)

⇒詳細は「資料(3) 都留市教育大綱(案)の策定に係る説明資料」、「資料(4) 都留市教育大綱(案)のとおり」のとおり

⇒ 提案のとおり決定

【出席者からの発言はなし】

4. その他

【出席者からの発言はなし】

5. 閉会